

# 行革後初の敬老会、参加者減ってこじんまり

## 第4回吉川区敬老会開催

今年度の吉川区敬老会が16日、長峰温泉ゆつたりの郷ゲートボール場で行われました。吉川区になってからで数えると4回目です。

市の行政改革によって市の敬老会の参加対象者は今回から75歳以上となりました。そのため、参加者は約280人となり、対象者が70歳以上だった昨年と比べ150人ほど少なくなりました。例年より静かだと感じたのはそのせいでしょうか。送迎用のバスもこれまでの大型バスからマイクロバスになりました。

式典では主催者を代表して中川周一副市長が挨拶しました。いつも力強い挨拶をすることで定評のある同副市長は、戦前から困難を乗り越

え、地域の発展のために貢献されてきた参加者に感謝し、これからも頑張つてと激励しました。来賓代表として市議会の古澤弘副議長も挨拶しました。

私も万歳三唱の際に一言。80代のある女性が毎年半纏（はんでん）を数着作って誰かにきてもらうことを張り合いにしていること、「おまんはおうちの親方だすけ、がんばつて」と声をかけた時に入院中の父がほほ笑むことを例にあげ、一人の人間としての価値を認めてもらえ

第2部のアトラクションは今度も踊りと歌が中心でした。



【むかごブーム】最近、山芋のむかごがブームです。ご飯に入れたり、おやつにしたり…。写真はむかご入りおじやです。

る喜びを大切に、という話をさせていたきました。思いつくままに語ったので、参加者の心に届いてくれればいいのですが。

私が登壇、素敵な踊りを披露しました。毎回感心するのは踊る人たちの豊かな表現力です。体全体で踊るので、目や指の動きがじつに細やかです。いろんなことを表現できるものですね。歌では秋田県出身の男性歌手、榎春美さんが「高原列車」



吉川区の楽清会の皆さんの踊り。会場から大きな拍手が送られました

## （株）杜氏の郷存続の要望書提出へ 第7回吉川区地域協議会

今年度の第7回吉川区地域協議会（矢澤源一郎会長）が10日、吉川コミュニティプラザで開催されました。

今回の主題は注目の（株）よしかわ杜氏の郷の損失補償問題です。ケーブルテレビで事前に開催が知らされ、傍聴を呼び掛けていたこともあって、傍聴者は過去最高の7人にもなりました。

先日の（株）よしかわ杜氏の郷の株主総会、市議会文教経済委員会の様子が報告された後、地域協議会は、同社の存続を求める要望書を市長、市議会、JAえちご上越に提出することを決めました。そこでは、「（杜氏の郷は）吉川区の財産。損失補償の費用は地域事業費から拠出することはやむをえないと判断している。今後は地域住民と一丸となって盛り上げていく所存。ぜひ存続についてご理解とご支援を」とあります。要望書案の議論のなかでは、「地区住民が置き去りになる事態は避けるべきだ。住民の意見を聴く過程を経ないでいいのか」などの厳しい声もありましたが、最終的には全会一致でした。



NO 1367  
2008.10.19

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一  
TEL 548-3628 (有線) 4867  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL http://www.hose1.jp/